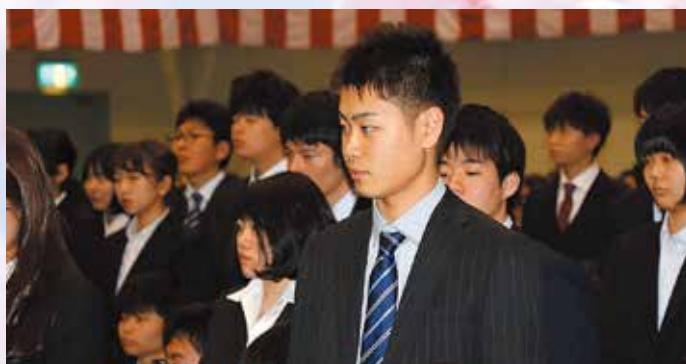


[本校]〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス]〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
http://www.nuis.ac.jp somu@nouis.ac.jp



平成30年度 新入生 おめでとう

専門分野を極める努力を 目標を定め主体的に学ぶ

在学生
を代表し
た。

平成30年度の入学式が4月3日、本学体育館で行われました。第25回の新入生は国際学部国際文化学科が128人（内編入1人）、新設した経営情報学部の経営学科105人、情報システム学科84人、合わせて317人。希望に胸を膨らませ、み

どを含め学外にも活動の場を広げ、自らの目標を定めて主体的に学んでください」と祝辞を贈りました。各方面からの祝電披露に続き、派遣留学・海外夏期セミナーで提携するロシア、中国、韓国、米国、カナダの5大学から祝福メッセージが大

スクリーンで紹介されました。

みずき野キャンパスでの学生生活がスタートしました。新学長として4月1日に就任した野崎茂学長は「豊かな人間性と高い専門分野を極める努力を惜しまず、哲学、美学、文学、音楽などのリベラルアーツも学び、留学などを経験して、

て情報システム学科の佐藤絢子さんが「責任を持って自ら考えて行動し、人との関わりや繋がりを広げ、楽しむ心を持ち続けてください」と歓迎の言葉を述べました。これに対し、新入生を代表して経営学科の稻葉圭太さんが「向上心を持って勉学やサークル活動などに取り組みます。大学生活で大きく成長したい」と抱負を述べました。



CONTENTS

2~5面

平成30年度入学式特集
学長式辞
新入生代表・私の抱負
在学生代表・歓迎の言葉
両学部長のメッセージ

湧源
退職教員あいさつ
新任教員紹介

6~7面

COC+国際交流事業
平昌五輪 通訳ボランティアで支援
内野地域でにぎわい創出へ
中学校で食育支援事業

オープンキャンパス案内

8~9面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告
10~11面
就活へ 学生・企業交流会
新潟日米協会・米国大使館
学生ディスカッション
第59回新潟広告賞 奨励賞受賞

平成29年度主な就職先一覧
教員の活動

12~16面

平成29年度卒業式特集
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞
JABEE認定22人に修了証書授与
卒業にあたって
特別表彰 式典スナップ

式辭

新潟国際情報大学

学長 野崎 茂



2学部3学科
体制を取ることと致しまし

使いこなす知識と技術を身に付けて情報社会の発展に貢献できる人材を育成します。私たち教職員は皆さん方が「国際化、情報化の社会の中での高い専門性を身に付け、豊かな人間性を兼ね備え社会に貢献できる人材」に育つて行くよう全力を尽くします。皆さんは大学における

新入生の皆さん、本学への入学おめでとうございます。本学教職員を代表致しまして皆さんに心からお祝いを申し上げますと共に歓迎致します。

今更申し上げるまでもなく新潟港は幕末から明治にかけての開港五港の一つであり、同港を抱える新潟は環日本海北東アジアの拠点たりうる、地政学的にも極めて重要な場所に位置しております。この新潟で国際化、情報化の時代に地域で必要とされる人材の育成を主たる目的に、本学は平成6年に創設されました。開学から数えて四半世紀、皆さんはちょうど25期目の新入生です。そして本学は今年度から国際化、情報化の一層の進展という時代の趨勢に對応すべく国際学部に国際文化学科、経営情報学部に経営学科と情報システム学科という

国際学部国際文化学科では北東アジアや
アジア太平洋地域などの国際社会の理解と
英、露、中、韓を中心とした外国语の習得
を通じ、地域ならびに国際社会の平和や真
の発展のために貢献できる人材の育成を目
指します。

317名の新入生、これが皆さん方第25期入学の同期生ということになります。同期生の顔を覚えるのにちょうどいい規模、同期生のみならず先輩、後輩も含めた強力なネットワークを構築することが出来る規模なのではないでしょうか。

国際学部国際文化学科に128名、経営情報学部経営学科に105名、同情報システム学科に84名、合計

体制を取ることと致しました。

使いこなす知識と技術を身に付けて情報社会の発展に貢献できる人材を育成します。私たち教職員は皆さん方が「国際化、情報化の社会の中での高い専門性を身に付け、豊かな人間性を兼ね備え社会に貢献できる人材」に育つて行くよう全力を尽くします。皆さんは大学における

それぞれ興味を持った専門分野を極めるための努力を惜しまないでください。それと同時に哲学、美学、文学、音楽といったリベラル・アーツの世界に遊ぶことも必要です。学業のほかサークルなどの課外活動を通じて知己のネットワークを大きく広げてください。あるいはそれを留学も含め学外に求めるのもいいでしょう。こうした大学での生活、社会での生活を有意義に送るための時間配分、教養科目、専門科目といつた授業科目の選択、駒割りも自ら目標を定めて主体的に創り上げて行くのです。またそれに合わせて生活の態様をここで一から見直してみてもいいのかも知れません。皆さんは今そうした自由を

さて、皆さんの中には高校時代に漢文を履修した方も多いと思います。その授業で「駑馬十駕」という言葉をお聞きになった方もおられると思います。紀元前3世紀の中国戦国時代に活躍した儒学者荀子の修身篇の中に「驥は一日にして千里なるも、駑馬も十駕すれば、則ち亦たこれに及ぶ」という一節があり、ここから出た熟語です。

【驥】は一日に千里も走る名馬、優れた才能を持つた馬です。「駑馬」は足の遅い駄馬。もうお分かりだと思います。文意は「世の中には一日に千里も走る名馬がいる。確かにいるが、一方で駄馬もいる。だが足の遅い駄馬であつても怠ることなく十日間走り続ければ、その名馬に追いつくことができる」ということ。こう言いますと皆さんは「ああ、それはイソップ寓話にあるような話だ。兎と亀の話と一緒に飽きた」と思われることでしよう。そう、そのとおりです。ただこの話にはもう一つ統きがあります。時代は下り所は変わって江戸時代末期の儒学者に塩谷岩陰という人がおりました。その著書「鞭駘錄」の序文に次のような一節があります。「『駑馬十駕』というが具体的にはどうやればいいのか」と問われた岩陰は次のように応えます。「之に鞭打ち之に鞭打ち、之に鞭打ちて又鞭打ち、今日十里を行き、明日十里を行き、行き行きて息まず。百年一の如くんば必ず志すところに至り、斃れて後に已む。其れはれ之に及ぶに庶幾からんか」と。文意はあって申し上げるまでもないでしょう。昔、私も漢文の授業でこれを習った時に「痛い手にしているのです。

だろうな。馬に生まれなくてよかつた」とつくづく思つたものでした。

「必ず志す所に至る」

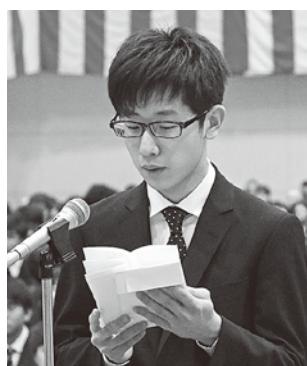
皆さんの中には特技を持つた名馬もおられる。普通の馬やあるいは

の才能をこのみずき野で大きく開花させてください。後者の中の、自発的に黙々と十日間走り続けることのできる眞面目な普通の馬は必ず名馬に追いつけます。ただ、中には自分で駄馬だと思い込んでいる馬もいるでしょう。そのような馬でも「之に鞭打ち之に鞭打ち又鞭打つ」です。もちろん鞭打つのは自分自身です。周りが鞭打つのではありません。自ら鞭打つ

のです。そうすれば「必ず志す所に至る」のです。皆さんは自分がもし馬であつたとしたらどのタイプの馬だと思つておられますか。

こう申し上げてきましたところで、皆さんはなればご家族や皆さんを周りで支えてくださっている方々へ大学から毎年必ずお伝えしていることがあります。

私の抱負



新入生代表
経営学科 1年
稻葉 圭太

してくられた家族や周りの皆さんにも感謝と
御札を申し上げます。

現在、私たちは、さまざまなネットワー
ク環境の中で生活をしています。このネット
ワークを駆使した技術は日々進化してお
り、私たちはこの目まぐるしい技術の進化

向上心を持ち
探究し続ける

暖かな春の訪れとともに、私たちは新潟国際情報大学の入学式を迎えることができました。

本日は私たち新入生のために、このよう
な素晴らしい入学式を挙行していただき、
誠にありがとうございます。数々の激励の
お言葉にも、心から御礼申し上げます。ま
た、私たちを今日まで温かく見守り、応援

に対応していく必要があります。また、ネットワーク技術の進化に伴い、社会のグローバル化が進み、外国人の人たちと接する機会が増えてきており、円滑にコミュニケーションをとるための言語や表現力が必要になつてきています。これらの知識や技術を

として成長していきたいです。
新潟国際情報大学での4年間を有意義なものにするために、経験豊富な先生方から多くの知識や技術を学びながら、日々成長し続けることをお誓いし、新入生を代表しあげ抱負とさせていただきます。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず本日ご列席を賜りましたご来賓の皆さんには教職員一同心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

これらの学習で身に付けて、将来は国際化と情報化に貢献できる社会人になりたい

くれる人がいることを忘れないでください。

いよいよ大学での新しい生活が始まろうとしています。何事にも今まで以上に興味と関心、疑問を持つて探究する気持ちを忘れずに、向上心を持つて取り組んでいきます。また学習だけではなく、サークルなどの課外活動において、人との関わり方、接し方を学ぶことで自分の考え方を豊かにし、人間

時には思い出してください。そういう時は名馬であつても、普通の馬であつても、駄馬であつても同じです。「之に鞭打ち之に鞭打ち、之に鞭打ちて又鞭打つ」です。二歩一歩また一歩、そうすれば必ず志す所に至ります。皆さんには明るい未来がない可能性が待っているのです。このみずき野の地でそこへ向かって一緒に進んでまいりましょう。

態になつたと感じた時には何時でもゼミの先生か学務課の職員のほか、この問題を担当していますキヤン・パスライフ支援委員に相談してください。

歓迎のことば



在学生代表
情報システム学科 3年
佐藤 紘子

平成30年度新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さん、おめでとうございます。在学生一同心から歓迎いたします。

新入生の皆さん、新潟国際情報大学の学生として、これから4年間の大学生活を送ることになります。今日はその一日目です。今、皆さんはどのようなお気持ちでしょうか。分からぬことが山ほどあり、新たな生活環境への不安などさまざまな不安を抱えている方もいらっしゃると思います。

しかし、大学は端的に言えば「楽しむ」場所です。勉学・研究に没頭する。友人と交流に時間を費やす。クラブ活動に精を出す。教授や大人たちとの関わりを広げる。自分で大学の外から楽しむのを見つけてくるのもいいと思います。私はそういった

「楽しむ心」をこの大学生活で会得し、自分の宝物の一つとして持ち続けてほしいと思っています。ですから、今からでも構いません。「大学生活を楽しむぞ」という気持ちで積極的に臨んでみてください。また、自分はこの大学生活を卒業するときにどうなっ

ていればよいか、それまでにやらなければいけないことは何かを考え把握したうえで、行動に移し思いつきり楽しんでください。

祝電

順不同

日本私立大学協会 会長	大沼 淳様
新潟県 知事	米山 隆一様
新潟市 市長	篠田 昭様
新潟商工会議所 会頭	福田 勝之様
セコム上信越株式会社 代表取締役会長	野沢 慎吾様
株式会社日本ドリコム 代表取締役社長	山城 由紀雄様
株式会社リクルート北関東マーケティング 代表取締役社長	太田 豊彦様
株式会社福田組 代表取締役	中島 淳二様

思いつきり楽しんで 自ら考え行動、人と関わる

が、最後に自分が成長させてくれるのは人の関わり、つながりです。恐れず、積極的に関わってみてください。
最後になりますが私は皆さんにこの大学と新潟とこの大学を好きになるよう努力してください。ふるさたりまえのようですが、好きでないと続きません。4年間もありますが困難に立ち向かわなければいけないこともあると思います。そういう年月の中で楽しいことあります。私はそういった時、何か協力をして欲しいとき、誰かとつながっていれば必ず助けてくれる人が現れます。また、人との関わりを大切にしていきます。そんな時でも胸を張つて新潟国際情報大学が好きだといえる学生になつてもらいたいと思います。これからの4年間の学生生活が充実したものになることを願つて、

湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 安藤 潤

安藤 潤

18歳の頃だった。チキンラーメンの生みの親である安藤百福氏が関西ローカルの夜番組に出演し、彼が発見したチキンラーメンのおいしい食べ方を紹介していた。一人用の土鍋で煮込み、煮えたら真ん中に生卵を落として周りに刻んだニラを散らし、蓋をする。台所からティーブルに運んで、蓋を開ける頃にはちょうどいい感じで卵の白身が半熟状になり、それを箸で崩し、麺と絡ませて食べるのが一番おいしいとのこと。翌日からハマってしまった。午後4時頃にこの作り方でほぼ毎日チキンラーメンを食べ続けた。もちろんその後の晩ご飯も。その結果、大学に入る頃には体型が大きく変わっていた。体重も過去最高を記録。そこでやめればよかったのだが、エースコックのワンタンメン、サッポロ一番塩ラーメンとともにチキンラーメンは大学生になつても煮込み系インスタントラーメンの別れがたき「三大親友」となる。
ただ最近のインスタントラーメンには落胆させられている。煮込み系インスタントラーメンと言えば「金のない独り暮らしの男の不健康な食事」の象徴だつたにもかかわらず、最近では健康を考えて栄養素まで書いてある。加えて技術進歩が可能にしたとはいえるインスタントラーメンとは思えないほどに本格的な麺になつてしまつた。学生時代の友人とほとんど会わなくなつたように、さすがにもう煮込み系インスタントラーメンとご対面することはほとんどなくなつた。それでもラーメンは好きだ。2年ほど前からほぼ毎週日曜日のお昼は近くのラーメン屋で「からし味噌ちやーしゅうめん」にもやしをトッピングと決めている。それでいて体重はこの1年で2キロは落ちた。入試・広報委員長はかくも過酷な仕事だったのだとあらためて感じさせられる。

海外提携5大学の教員・学生24人が来校



三条鍛冶道場でカナダ・アルバータ州立大学の学生が
ペーパーナイフの製作体験

COC+国際交流

CO-C+（文部科学省が推進する「地（知）」の拠点大学による地方創生推進事業）国際交流関連事業の一環で昨年11月下旬、海外の提携大学（カナダのアルバータ州立大学、中国の北京師範大学、韓国の慶熙大学校、ロシアのウラジオストク国立経済大学、アメリ

カのセントラル・ミズーリ州立大学）から教員と学生24人が来学し、新潟県立大学の留学生1人も加わって楽しく交流を行いました。

三条市、弥彦村を視察

中国、韓国、ロシア領事館と親交

23日は三条市の三条鍛冶道場と弥彦村でペーパーナイフの製作体験と越後一之宮の弥彦神社を参拝しました。夜はホテル日航新潟で開いた歓迎会で弥彦村と中國、韓国、ロシアの各総領事館からのお客さまと交流を深めました。

24日は本学国際交流センターでワークショップを行い、弥彦神社での体験から「弥彦の魅力」をテーマにプレゼンテーションをして

了しました。

（企画推進課）

平昌五輪 ロシア・フィギュア選手団 新潟市合宿

憧れのスケート選手に同行

国際文化学科3年 石田 真由



ロシアのフィギュアスケート男子代表のコーチと話す石田真由さん

平昌冬季五輪に出場したロシアのフィギュアスケート選手団が1月29日から2月18日まで新潟市内で事前の合宿を行うことを知り、新潟市のロシア語通訳ボランティアに参加しました。

私は昨年ロシアに半年間ほど留学をしてきた経験を生かして、公

がかないました。時折、難しい通訳の場面もありましたが、選手たちにより良い調整をしてほしいと、いつも一心から精一杯取り組みました。おかげで、今後さらにロシア語の勉強に励もうと思うようになりました。

に接する夢

ロシア選手

式通訳の不在時に選手たちとスタッフに付き添うサポートをつけて往復す



「インスタ映え」魅力アップ

内野地域でにぎわい創出へ
こすぶれ&イルミネーション

新潟市西区内野地域の魅力再発見と
にぎわい創出へ、藤田美幸研究室の学
生3人は1月13日に開かれた同市西区
自治協議会の提案事業「うちのDEこ
すぶれ&イルミネーション」の企画か
ら運営まで関わり、参加しました。

流行の「インスタ映え」を意識し、内野まちづくりセンターの屋内外をイルミネーションで装飾。他のコスプレ・イベントにはない撮影環境をコスプレイヤーや地域の皆さんに提供すること

情報システム学科4年 小林直起

新潟西商工会と協力し、参加者が気軽にコスプレを楽しみJR内野駅前通りや飲食店の前などで記念撮影できるようにし、店舗の看板前で撮影した写真をSNSで発信。その画面を協力店舗で提示すれば割引などの特典が受けられ、西区アートギャラバンなど地域イベントとともにタイアップして次第に大きく成長しています。内野商店街の活性化のため、今後も地域の人たちと協力店として内野地域の魅力を発信していくたいと思います。



新潟市赤塚中学校で栄養成分データベースを活用した食育授業に参加

高木義和研究室は、地域貢献の一環として2月下旬、新潟市の白南中学校と赤塚中学校で栄養成分デ
タベー
ス(DB)
を活用し
た教育支
援授業を行いました。

各教材と分量を入力すると、教科書の

中学校で栄養成分DBを活用

高木研究室

栄養成分DBを活用

高木研究室

各食材と分量を入力すると、教

援授業を行いました。

科書と同じ赤・黄・緑の色で表示されます。そして炭水化物、タンパク質、脂質などのエネルギー

地域の暮らしにも役立つと思わ

（情報システム学科 教授 高木 義和）

カナダ

私たちカナダ夏期セミナー参加者12人は昨年8月6日から9

月2日まで、カナダのアルバータ州立大学で学びました。

夏期セミナーでは、他国や他

大学の学生と一緒に少人数制で

英語を学ぶ約3週間のIDPクラスと、その後

多国籍でフレンドリー

生活や文化の違い実感

情報システム学科4年

荻野 真徳

ラスと、その後

の1週間は本学

学生だけでオリジナルのホームページを作成するITクラスの授業に参加しました。

少人数制の英語研修は毎朝8時から正午まで学び、習熟度別

のクラスでは英会話とプレゼンテーションの授業を受けて、I

学生だけでオリジナルのホームページを作成するITクラスの授業に参加しました。

少人数制の英語研修は毎朝8時から正午まで学び、習熟度別

のクラスでは英会話とプレゼンテーションの授業を受けて、I

アメリカ

私たち22人は昨年8月23日から12月8日まで、米国ミズーリ州にあるセントラル・ミズーリ州立大学に留学しました。

英語を母語としない人のためのIntensive English Programに参加して、レベルに応じて4つのクラスに分かれ、韓国人や中国人、サウジアラビア人など多様な国籍の学生と一緒にほぼ全ての授業でディスカッションを行

伝統の家庭料理楽しむ

人種差別の抗議行動も

国際文化学科3年 田中 克

地の友人にさまざまなものへ連れて行ってもらいました。アメリカ人のルームメートを持つことはできなかつたものの、アメリカでの生活を大いに楽みました。

私たち22人は昨年8月23日から12月8日まで、米国ミズーリ州にあるセントラル・ミズーリ州立大学に留学しました。

英語を母語としない人のためのIntensive English Programに参加して、レベルに応じて4つのクラスに分かれ、韓国人や中国人、サウジアラビア人など多様な国籍の学生と一緒にほぼ全ての授業でディスカッションを行

い、多くの異なる考え方につれて、視野を広げることができました。

日常生活では、大学の寮に滞在してアメリカ人や外国人の学

生たちと話したり、さまざまな学内イベントに参加したり。現地元の家庭の夕食に招いていた

サンクスギビングの祝日には地の友人にさまざまなものへ連れて行ってもらいました。アメリカ人のルームメートを持つことはできなかつたものの、アメリカでの生活を大いに楽みました。

スへ行きました。とても楽しい旅行でしたが、ショッピングモールで買い物中、近隣の町で白人が黒人に砲したことを見たことを発端にした人種差別への抗議行動が始まり、交通規制で身動きが取れなくなるなど少し怖い場面もあり、アメリカの社会問題について身をもつて感じました。

アメリカならではの新鮮な体験と共に、多くを学びました。

時には困難もありましたが、体

験を通して成長することもできました。協力してくださった関係者の皆さんに心から感謝いたします。



く応じてくれたことに驚きました。生きた英語を学べるとしても良い環境だと実感しました。

最初は授業についてゆくのがやっとだったITクラスでは、自分オリジナルのホームページ

ホームページで、日本的生活や文化との違いをいろいろと実感しました。そして、歴史公園のフォート

情報システム学科4年

荻野 真徳

した。

ホーメステイで

した。

は、日本の生活や文化との違いをいろいろと実感しました。そして、歴史公園のフォート

を無事に完成させることもできました。また、地元のラジオ局

訪問や世界遺産の

カナディアンロッキー観光など大自

然を感じられる貴重な体験もできま

す。

エドモントンでは建国100周年を迎えたカナダの伝統と歴史を深く感じました。

カナダの人々は皆さんが本当に温かく親切で、英語が話せなくて人見知りな私にも親切に話しかけてくれました。アルバータ州立大学で学生に新潟の魅力を伝えるプレゼンテーションでは、同じ班内で協力し合い、とても良い発表ができたと思いました。過ごした期間は4週間と短かったのですが、得られたものは大変多く充実した毎日を過ごすことができました。

さつた本学と全面的にサポート

していただいた先生方、留学の後押しをしてくれた家族に感謝して、留学で得たことを今後に生かしていきたいと思います。

このような機会を与えてくだ

さつた本学と全面的にサポート

していただいた先生方、留学の

後押しをしてくれた家族に感謝

して、留学で得たことを今後に

生かしていきたいと思いま

す。

カナダの人々は皆さんが本当に温かく親切で、英語が話せなくて人見知りな私にも親切に話しかけてくれました。アルバ

ータ

州立

大

學

校

で

英語

が

話

せ

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

い

う

な

5カ国派遣 海外セミナー

の後はさまざまの国の学生と一緒に秋学期課程に入りました。

た。しかし、韓国語ばかりの環境に慣れると、韓国の生活が楽しくなりました。好きなアーティストのコンサートにも行き、彼らが歌う韓国語の歌詞も、話す言葉もほとんど理解できるようになり、韓国語を勉強する励

語学能力が自然と向上
コンサート、歌も樂し

國際文化學科3年
鈴木 桃佳



韓五

私たち15人は昨年9月5日から12月28日まで、ソウルにある慶熙大学校で学んできました。最初の3週間は初級1（文法聞き取り・会話）を受講し、そ

思疎通を試み、韓国語を毎日使う生活をするうち、少しづつ韓国語の能力が向上しました。上達したのはリスニングです。韓国に着いたばかりのころはお店の人が話している内容が分からず何度も心が折れまし

素晴らしいバレエ鑑賞 多くの出会い思い出に

国際文化学科3年 石田 嘉由

私たち8人は昨年8月29日から12月28日まで、ロシアのウラジオストク国立経済大学で学びました。多くの人と出会い新しいことを経験し、充実したとても価値のある留学でした。最初の1カ

いる気がして不安でした。課題やテストも多く、毎日何時間も必死で勉強しました。徐々にできことが増え、聞くだけでは精一杯だった授業に参加できたときは大きな喜びでした。

一緒に学んだ韓国人学生と仲良くなれたことは本当に良かったと思います。授業では分からぬところを教えてもらい、話をするうちにだんだんと心の距離が縮まりました。

素晴らしいロシアバレエを鑑賞して、クラスメートとスケートをしたり、おしゃれなカフェで

中
國

私たち4人は昨年8月28日から今年1月9日まで、中国の北京師範大学に留学しました。当初は中国語が聞き取れず、食事も日本とは違った生活に慣わるまでに時間がかかりました。しかし、10月を過ぎると言葉が聞き取れるようになり、クラスメートと会話ができるて中国生活が楽しくなりました。11月には河南省へ旅行をして歴史的建造物や食文化に触れました。北京に戻つて河南省旅行のレポート

河南省旅行でレポート だんだん生活が楽しく

国際文化学科3年 丸山 莉奈

留学を終えることができました。また、奨学金制度のおかげで留学に踏み切ることができたことを感謝します。これからは後輩のサポートに回り、できるだけ不安を取り除いてあげたいと思っています。

く、クラスメート、家族、先生方、学務課の方々の支えがあったからこそ無事に

を中国語でまとめていると、中国語の能力が上がつていると実感することができました。留学前は中国について良いイメージはありませんでした。中国で生活して、現地の方はと

謝しています。また、無事に派遣留学を終えることができたのは日本で支えてくださった先生方、職員の方々、家族や友人のおかげです。

就活へ「学生・企業交流会」



県内外194社、3年生229人が参加

採用担当と面談 働き方など質問

「平成29年度就活直前！
NUIIS学生・企業交流会」
を2月14日、本校体育館で
開催しました。新年度の就
職活動スタートを前に、学
生と企業・団体との接点づ
けを行いました。

普段は関わる機会の少な
い他校の学生や米国大使館
の方々と話すことができ
た。貴重な経験となりまし
た。

4) 委員・社会的活動・記事・その他

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

- ・(2017年12月22日～29日) 日本経済新聞「やさしい経済学」「アイデンティティと経済行動①～⑥」
- ・(2018年1月11日) 新潟日報assh2018年1月11号(新潟版)「古町一より魅力あるまちにー」

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

- ・(2018年1月1日) 「図書新聞」2018年1月1日号「格差と分断のEU2017」

内田 亨(経営学科・教授)

- ・(2018年3月1日) NOSAI新潟 コンプライアンス委員会(NOSAI新潟)

小林 満男(情報システム学科・教授)

- ・(2017年4月1日より継続～2023年3月31日) 黒崎商工会経営発達支援事業 評議委員
- ・(2016年4月1日より継続～2019年3月31日) 一般財団法人自治体衛星通信機構 理事

佐藤 泰子(国際文化学科・英語講師)

- ・(2018年2月13日) 新潟日米協会・米国大使館共催 第一部「学生ディスカッション 効果的な英語学習方法」ファシリテーター(ホテルイタリア軒)

高木 義和(情報システム学科・教授)

- ・(2018年2月15日) 第2回新潟市個人情報保護審議会(会長) 平成28年度個人情報保護制度の実施状況について

高木 義和(情報システム学科・教授)、小宮山 智志(経営学科・准教授)

- ・(2018年2月21日～22日) 白南中学校/赤塚中学校の食育授業における栄養計算DBの利用

藤田 晴啓(経営学科・教授)

- ・(2017年10月19日) 科研「インドネシア・バセマ高原の装飾古墳の基礎的研究」に関する共同研究確認書(Letter of Agreement)をインドネシア国考古学研究所と締結する
- ・(2017年10月20日) 科研「インドネシア・バセマ高原の装飾古墳の基礎的研究」に関する研究協力をボラドゥール保存事務所に申し入れ、情報交換を科研代表を交え行う

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

- ・(2018年3月15日) 朝日新聞全国版「私の視点 日本軍『慰安婦』問題 『積極的平和』に向け貢献を」

効果的な英語学習とは

新潟日米協会・米国大使館 学生ディスカッション

国際文化学科3年 竹石三則

新潟県内の大学生と専門学校生30人ほどが参加したディスカッションでは、5人6人ごとのグループに分かれて「効果的な英語学習方法」について話し合い、グループ代表が英語で意見発表を行いました。さまざまなお話を聞きながら、参加しました。

記するのではなく、自分の身の回りの事象やパターンに当てはめて応用文を考えることで、より効果的に英語を学ぶことができます。



グループごとテーブルに分かれて英語の上達方法をディスカッション

Japanese College Students' TESOL2018 International Convention & English Language Expo
(McCormick Place Convention Center in Chicago)

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

- ・(2017年12月2日) コメンテーター「移動と流行：現代中国のコンタクトゾーン」南山大学人類学研究所公開シンポジウム(南山大学)
- ・(2017年12月8日) ゲストティーチャー「中国農村部における少数民族・ミャオ族と民族衣装」敬和学園大学「アジア文化論2」(敬和学園大学)
- ・(2017年12月27日) 「中国少数民族文化からみた日中関係：ミャオ族の民族衣装に着目して」東アジア人類学研究会第4回研究大会(大学セミナーハウス)
- ・(2017年12月28日) コメンテーター「中国における日本の人類学：西南少数民族研究に着目して」(中国語) 第4回日本文化人類学会国際シンポジウム「東アジアにおける人類学の国際化／グローバル化：第2部 中国と日本」(首都大学東京)

藤田 晴啓(経営学科・教授)

- ・(2017年7月29日) 基調講演「SVOおよびBDF発電のカーボンフットプリント、環境および産業の視座から」第2回バイオマス国際会議(ボゴール農科大学)
- ・(2017年10月12日) 基調講演「廃食油からのBDF製造とSVO発電、世界の再生可能エネルギーからキッチンまで、提案ボゴールプロジェクトにおける職業訓練プログラムの役割」国際エネルギー・食糧保障応用化学会議

山田 裕史(国際文化学科・講師)

- ・(2018年2月10日) ワークショップ「カンボジアにおける権威主義体制の歴史的起源」慶應義塾大学次世代研究プロジェクト推進プログラム「アジアにおける権威主義体制の歴史的起源」(政策研究大学院大学)

3) 競争的資金獲得研究

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

- ・(2018年1月より継続～12月) JFE21世紀財團・大学研究助成金・アジア歴史研究助成「近代東北アジア諸地域におけるコンブ漁業の比較研究」

くりとして今年で4回目の交流会でした。

交流会には県内外から194社の企業と団体の採用・人事担当者が参加。就職を希望する3年生229人が、それぞれ複数社のチケットを回つて担当者と面談し、各社の現況や仕事の内容を質問するなどコミュニケーションを図りました。

インターネットなどで企業情報を得ていた学生たちは、各業界の実情や各社の働き方や福利厚生面などを直接たずねることができ、これからの就職活動に役立つと同時に多方面から社会を知るよい機会となりました。

平成29年度卒業生 主な就職先一覧

(株)アークベル	カネ美食品(株)	(株)第一実業	日本ビルコン(株)
アーランドサカモト(株)	(株)川内自動車	(株)大建建設	(株)ネイグル新潟
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	北越後農業協同組合	(株)大光銀行	ネットコ新潟(株)
青山商事グループ	(株)北村製作所	(株)第四銀行	野村證券(株)
アクシアルリテイリンググループ	(株)キューピット	(株)大和総研ホールディングス	ハーバーハウス(株)
アサヒアレックスホールディングス(株)	協栄信用組合	(株)タカヨシ	(株)ハウステック
(株)アシカタ	(株)クスリのアオキ	辰巳屋興業(株)	(株)波多野自動車販売整備
(株)アスカプランニング	クリナップ(株)	(株)田中衡機工業所	(有)パラーズファクトリー
(福)愛宕福祉会	(株)グローバルネットコア	中越運送(株)	(株)BSNアイネット
㈱アヴァンツ・インフォメーション・デザイン	(株)京急イーアクスイン	中越クリーンサービス(株)	東日本旅客鉄道(株)
新井信用金庫	(株)ガオホールディングス	司コンピュータ(株)	(株)ビッグモーター
アルファテクノロジー(株)	(株)興和	燕・弥彦総合事務組合	(株)ビット・エイ
(株)アンドクリエイト	コクヨ北陸新潟販売(株)	(株)ツルハ	福田道路(株)
(株)E&Cマクロム	コニカミノルタNC(株)	(株)ティーガイア	富士ゼロックス新潟(株)
(株)イオンフォレスト	(株)コマザワ精機	(株)TNF	藤田金属(株)
イワツキ(株)	(株)コメリ	デビフペット(株)	(株)富士通新潟システムズ
岩村養鶏(株)	ココワフルール・ド・パリ・ジャポン	東京コンピュータサービス(株)	(株)フジミック新潟
機インテックソリューションパワー	コンピュートロン(株)	東芝ホームテクノ(株)	(株)PLANT
(株)ウイザップ	サイバーコム(株)	(株)トニー&トニー	ブリヂストンリテールジャパン(株)
ウエルシア薬局(株)	佐渡市介護老人保健施設すこやか両津	(株)富樫組	(株)ベストランド
(株)ウォロク	(株)三條機械製作所	(株)トラステック	(株)北越銀行
(株)内山溶接工業	三条信用金庫	7improvementsグループ	(株)ホテルオーラ新潟
(株)ウメザワドライ	三條信用組合	(株)ナルサワコンサルタント	(株)ホテル清風苑
(株)ウメダニット	(株)サンソウシステムズ	にいがた岩船農業協同組合	(株)ホテル新潟
(株)エイエイピー	サントリービバリッジサービス(株)	(株)新潟エヌステーエヌ	(株)ホンダ四輪販売新潟
(株)エイジエック	(株)三宝	(特)新潟NPO協会	(株)マツイフーズ
(株)エイチ・アイ・エス	(株)シーエスレポーターズ	(医)新潟勤労者医療協会	(株)マルイ
(株)エスエフシー新潟	(株)JR東日本ステーションサービス	(株)新潟グランドホテル	(株)マルサン
越後さんとう農業協同組合	(株)ジェイ・エス・エス	新潟県警察	(株)マルハン
越後中央農業協同組合	(株)ジェイマックスソフト	新潟県信用組合	(株)マンションセンター
越後ながおか農業協同組合	(株)システムアート	新潟県農労働金庫	(株)水倉組
NECネクサソリューションズ(株)	システムリサーチ(株)	新潟航空サービス(株)	三星金属工業(株)
(株)NHC	島津ホールディングス(株)	新潟交通商事(株)	南蒲原森林組合
(株)NSGホールディングス	清水商事(株)	新潟市消防局	(株)ミロク情報サービス
(株)NSホールディングス	(株)ジュン	新潟自動車産業(株)	明治安田生命保険(株)
(株)NCI	(株)商工組合中央金庫	(株)新潟食品運輸	明和工業(株)
(株)エヌ・シー・エス	昭和電機産業(株)	新潟信用金庫	最上峡芭蕉ライン観光(株)
(株)エヌリンクス	(株)シリウス	新潟精機(株)	森井紙器工業(株)
(株)FMG	(株)鈴木コーヒー	(株)新潟ダイハツモータース	(株)モリキ
(株)エフティグループ	(株)スズキ自販新潟	新潟トヨペット(株)	(株)安武商事
オーフス(株)	(株)ステップ	新潟日産モーター(株)	(株)山忠
(株)オーシャンシステム	(株)スポット	新潟みらい農業協同組合	ヤンマー・アグリジャパン(株)
大竹オール(株)	生活協同組合コープにいがた	新潟ヨコハマタイヤ(株)	(株)雪国まいたけ
大野精工(株)	セコム上信越(株)	ニイブロ(株)	RIZAP(株)
(株)大原鉄工所	(株)総研システムズ	日佑電子(株)	リコージャパン(株)
岡三にいがた証券(株)	(株)総合システムプロダクツ	(株)日産サティオ新潟西	(株)リビングギャラリー
(税)小川会計	(株)ソフトウェアサービス	日本郵便(株)	(株)レックス
(株)オタケ	ソリマチ(株)	日本生命保険相互会社	(株)ワタナベ
カナカン(株)	(株)第一印刷所		和同情報システム(株)

(株)第一実業	日本ビルコン(株)
(株)大建建設	(株)ネイグル新潟
(株)大光銀行	ネットコ新潟(株)
(株)第四銀行	野村證券(株)
(株)大和総研ホールディングス	ハーバーハウス(株)
(株)タカヨシ	(株)ハウステック
辰巳屋興業(株)	(株)波多野自動車販売整備
(株)田中衡機工業所	(有)パラーズファクトリー
中越運送(株)	(株)BSNアイネット
中越クリーンサービス(株)	東日本旅客鉄道(株)
(株)コマザワ精機	(株)ビッグモーター
燕・弥彦総合事務組合	(株)ビット・エイ
(株)ツルハ	福田道路(株)
(株)ティーガイア	富士ゼロックス新潟(株)
(株)TNF	藤田金属(株)
デビフペット(株)	(株)富士通新潟システムズ
東京コンピュータサービス(株)	(株)フジミック新潟
東芝ホームテクノ(株)	(株)PLANT
(株)トニー&トニー	ブリヂストンリテールジャパン(株)
(株)富樫組	(株)ベストランド
(株)トラステック	(株)北越銀行
7improvementsグループ	(株)ホテルオーラ新潟
(株)ナルサワコンサルタント	(株)ホテル清風苑
にいがた岩船農業協同組合	(株)ホテル新潟
(株)新潟エヌステーエヌ	(株)ホンダ四輪販売新潟
(特)新潟NPO協会	(株)マツイフーズ
(医)新潟勤労者医療協会	(株)マルイ
(株)新潟グランドホテル	(株)マルサン
新潟県警察	(株)マルハン
新潟県信用組合	(株)マンションセンター
新潟県農労働金庫	(株)水倉組
新潟航空サービス(株)	三星金属工業(株)
新潟交通商事(株)	南蒲原森林組合
新潟市消防局	(株)ミロク情報サービス
新潟自動車産業(株)	明治安田生命保険(株)
(株)新潟食品運輸	明和工業(株)
新潟信用金庫	最上峡芭蕉ライン観光(株)
新潟精機(株)	森井紙器工業(株)
(株)新潟ダイハツモータース	(株)モリキ
新潟トヨペット(株)	(株)安武商事
新潟日産モーター(株)	(株)山忠
新潟みらい農業協同組合	ヤンマー・アグリジャパン(株)
新潟ヨコハマタイヤ(株)	(株)雪国まいたけ
ニイブロ(株)	RIZAP(株)
日佑電子(株)	リコージャパン(株)
(株)日産サティオ新潟西	(株)リビングギャラリー
日本郵便(株)	(株)レックス
日本生命保険相互会社	(株)ワタナベ

平成30年3月現在(五十音順)



第59回新潟広告賞

本学が経営情報学部の新設に合わせて制作した新聞全面広告「つなぐ・つながる」が、新潟広告協会主催の第59回新潟広告賞で審査員からは「大きな構図で新潟を受賞しました。」と世界の街をつなぐデザインがいい。新聞を生かした作りだ。大学と学生による『つなぐ』『つなげる』セプトを鮮やかに表現している一部抜粋」との講評をいたしました。

初めて奨励賞に輝く

受賞は初めて。授賞式は3月16日、新潟市のホテルイタリア軒で開催されました。

本学広告の奨励賞

教員の活動 (本人申告による)

for Specific Purposes in Higher Education, Switzerland : Springer (201-221)

アレクサンドル・ブランソル(国際文化学科・准教授)

・(2017年8月) Unification of Japan. Tokugawa Ieyasu (496)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

・(2018年1月) "Chapter 7. The Japan-ROK Claims Settlement and the Comfort Women", Rumiko Nishino,Puja Kim,Akane Onozawa eds.Denying the Comfort Women. The Japanese State's Assault on Historical Truth, London: Routledge

・(2018年3月) 朴槿『阿片帝国日本と朝鮮人』岩波書店 (小林元裕先生、権寧俊先生、本学非常勤講師桜沢亜希先生、本学卒業生渡邉千夏さん、村山芳行さんと共に)

2)学会・研究会・講演等

石井 忠夫(情報システム学科・教授)

・(2017年12月) "Modality on pair sentential calculus PSC" The 9th international Workshop on Logic and Cognition: Non-classical Modal and Predicate logics (中国・広州 Sun Yat-sen University)

石川 洋(情報システム学科・教授)

・(2018年1月30日～2月1日) "An Approach to do Big Refactoring by using Eclipse UML Plugin" 2018 International Conference on Engineering and Natural Science (北海道・札幌 プレミアホテルTSUBAKI)

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

・(2018年1月30日) 「分断と格差のEU2017 規範パワーEUの行方」早稲田大学現代政治経済研究所EU研究部会 (早稲田大学)

内田 亨(経営学科・教授)

・(2017年12月1日) Rémy Magnier-Watanabe "Vertu organisationnelle, bien-être, performance au travail :Differences entre la France et le Japon" JOURNEE-FRANCOPHONE DE LA RECHERCHE 2017 (Maison franco-japonaise - Ebisu, Tokyo)

佐藤 泰子(国際文化学科・英語講師)

・(2018年3月27日～30日) Electric Village poster session: "The Case Study of MOOC for

1)研究論文・図書

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

・(2018年3月) 『ボストン戦における日米防衛支出の実証分析』文眞堂 (216頁)

區 建英(国際文化学科・教授)

・(2018年3月) 『区大典一 一個寓港经济学家の信念与奮闘』台湾萬巻樓図書『國文天地』 (394号)

・(2018年3月) 丸山真男(訳: 区 建英) 『福澤諭吉と日本近代化』(第三版) 北京師範大学出版社

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

・(2017年12月) 「堀清六と平塚常次郎 政治家になった二人の漁業者」『続・日露異色の群像30』生活ジャーナル社 (213-229頁)

・(2018年2月) 共訳『メイド・イン・ソビエト 20世紀ロシアの生活図鑑』水声社

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

・(2018年1月) 書評『装いの民族誌—中国雲南省モンの『民族衣装』をめぐる実践』(宮脇千絵 2017 風響社)『東南アジア研究』55巻2号 (412-414頁)

白井 健二(経営学科・教授)

・(2017年12月) "Suitable Inventory Asset Management Using Route-Dependent Options in Mathematical Finance", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.13 No.6 (1791-1811)

・(2018年2月) "Production Model Using an Asymmetric Simple Exclusion Process", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.14 No.1 (65-81)

藤田 晴啓(経営学科・教授)

・(2018年3月) 藤田晴啓 久保田和之 河野一隆「マイクロソフト・ホロレンズ(Microsoft HoloLens)を利用した郷土人形ホログラム展示の実証実験 一ディジタル・ミュージアムへの展望」九州国立博物館紀要『東風西声』13号 (47-62頁)

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

・(2018年1月) Naoki Fujimoto-Adamson & John Adamson "From EFL to EMI: Hybrid Practices in English as a Medium of Instruction in Japanese Tertiary Contexts", Key Issues in English

卒業式

A black and white portrait of Shigeo Takada, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, a light-colored striped shirt, and a patterned tie. He is smiling slightly and looking towards the camera. A white, five-petaled rose is pinned to his left lapel. The background is blurred, showing what appears to be an indoor setting with other people.

新潟国際情報大学
学長 平山 征夫

困難に挑む勇気を

本学の第21回卒業式を迎えることができましたことを皆さんと共に喜びたいと思います。特に今回は私にとりまして10回目、最後の卒業式となりました。皆さんを送り出すと共に私も卒業いたします。皆さん同様、感無量の思いで今ここに立っています。卒業される皆さんに心より「おめでとう」と申し上げます。ご列席のご父母の皆さんにもお祝い申し上げます。家庭から支えてこられ、今日という日を迎えた大きな喜びを感じておられることがあります。ご臨席いただきましたご来賓の方々にも御礼申し上げます。

卒業生諸君は、みずき野での楽しかったこと、苦しかったこと、大学生活のいろいろな場面が走馬灯のように脳裏を駆け巡っていることでしょう。種々の困難を乗り切り、卒業の日を迎えたことに心からのエールを送りたいと思います。振り返れば、4年はあつという間のことだったでしょう。みずき野で過ごした歳月は、皆さんには宝物のような貴重な思い出が詰まっています。青春の日々です。自然の中でスポーツにいそしみ、友情を育み勉学に励んだ日々は皆さんを大きく育んしてくれたはずです。今日その大学生活は終ります。大きく胸を張り自信を持つて社会に巣立ってください。今日、私は最後の卒業生として情報文化

でも、大学で学んだことは必ず役に立ります。それは、木を支える根のように皆さんに人生で必要な恵みを送り続けてくれるはずです。戸惑う度にみずき野で学んだことが「考え、判断し、実行し、解決する力」となって皆さんを支えてくれるでしょう。大学で学んだ木がさらに枝を張り葉を茂らせるには、卒業後も学びを続けることが必要です。私は「新潟県生涯学習協会」の会長を務めていますのでPRみたいになりますが、学校教育を終える皆さんは明日から社会教育に取り組んでください。生涯学習協会では、インド独立の父マハトマ・ガンジーの言葉を大切にしています。それは、「明日死ぬと思つて生きなさい。でも永久に生きると思つて学びなさい」というものです。皆さんも明日からこの言葉を忘れず、学び続けてください。

次の言葉を残しました。それは「どんな時も、人生には意味がある。どんな人のどんな人生であれ、意味がなくなることは決してない。だから私たちは、人生の闘いだけは決して放棄してはいけない」というものです。彼のこの言葉にはどんな状況下でも生きることの大切さが込められています。私は昨年9月、ポーランドを旅し、アウシュヴィッツ収容所を訪れました。ホロコーエストという歴史の狂気の現場に立ち、ヨーロッパ中からユダヤ人を運んできた貨車の引き込み線と粗末な木造の収容所を眺めていると、雑草の生い茂った野を渡る9月の爽やかな風にもかかわらず体の震えを覚えました。「人類はどうしてユダヤ人虐殺という過ちを犯したのだろう」と考え込む私に、収容所の公式ガイドで唯一の日本人である中谷剛さんが言つた言葉は深く残りました。

人々が一番切望していることは「暮らす」ということです。何が幸福かの定義づけはなかなか難しいですが、その実現の前提として人々に幸福をもたらすことができる政治経済等の社会システムが存在することが必要です。現代においては人類の知恵として民主主義と資本主義をベースに社会を構築してきました。しかし、今改めて「この社会システムは、人々を幸福にするだろうか」と問い合わせてみると、私は「イエス」という答えはなかなか出てきません。未だに地球上で8億人を超える人々が貧困と闘っています。日本でも、近年子供の貧困率が上昇しています。さらに多くの人々が今現在も生命の危険と闘っています。戦争やテロが収まらないからです。

それは「人間がロボットに仕事を奪われる」のか、「人類が労働から開放される」のか、異なる二つの将来予測がぶつかり合っています。皆さんはこうした時代を生きていかなくてはなりません。それには深い知識や洞察力、そして考える力と果敢な行動力が必要です。しかし、大学で学んだことはすぐに役立ちません。だから、当分は大海にこぎ出した小舟のように漂うことでしょう。

合軍によつて解放されました。その体験をもとに書いた「夜と霧」は、「アンネの日記」と共に多くの国で多くの人々に今も読まれています。収容所で次々と殺されゆく人、希望を失つて自ら命を絶つてゆく人を見て、フランクルは「過酷な状況でも生き延びることができる人は、体力が優れた人ではなく、家族を思い、音楽を愛し、そして最後まで生きる目的を失わない人であった」ことに気付いたのです。そして彼は

す。そのことを忘れないでください。
経済のグローバル化進展に伴う競争激化
に加え、「自国ファースト」政策のリーダー
がポピュリズムで選ばれ、独裁政権が長
期化する国が広がる、などの政治状況を見
ると、中谷さんの指摘は現実の重みを持つ
て私には伝わってきます。「不確実性の時
代」という視界不良の荒海に船出する皆さん
には、自身の人生の意義を大切にし、時代
の狂気にも振り回されない真つ直ぐな精
神を持って歴史の激動に立ち向つていって
ほしいと思います。

学科1名、情報システム学科
173名、国際文化学科10
4名、2学部合計278名を
送り出します。皆さんは4月
から社会人としてそれぞれ新たな人生を歩
み始めます。実社会では多くの困難な課題
にぶつかるでしょう。皆さんのうち多くは
企業に所属するわけですが、国内外の経済
情勢は企業にとって容易でない時代です。
米国のトランプ大統領登場以来、世界は「不
確実性の時代」に突入したと言われ、何が
起きたか予測困難な時代です。昨年来北朝
鮮を巡って緊張が著しく高まっています。
さらに不確実性を高めているのが「AI時
代」の到来です。一2050年までに現在
の職業の半分がAIロボットにとって代わ
られるどころか予想されていいます。

私は毎年卒業式に当たり社会人として巣立つてゆく卒業生の皆さんに私自身が大切にしてきた言葉を“はなむけ”として送つてきました。一生忘れずに大切にして欲しいという思いを込めて送つてきました。それも今回が最後になりました。最後に送る言葉は何にしようか随分迷いましたが、オーストリアの精神科医で心理学者のヴィイクル・フランクルの言葉にしました。フランクルはウイーンの精神病院に勤めていたのですが、ユダヤ人のため、ドイツ人の治療をナチスに禁じられ解雇されました。1941年12月に結婚しましたが、翌年9月にナチスの強制収容所に家族と共に収容され、その後両親と妻を失いました。フランクル自身はアウシュビツから別の収容所へ移送され、1945年4月寄附的に車

した。皆さんにも伝えるべき言葉と思いますので、フランクルの言葉と併せて申し上げます。

「皆さんはホロコーストという残酷な事件は、ヒトラーという狂気の指導者がやつたことと思つておられるでしようが、彼は民主主義という政治手続きで選ばれたのです。ヒトラーというリーダーを選んだ当時のドイツ国民の責任は、歴史的に問われなければなりません。しかし、もう一つ忘れてはならないのは、ヒトラーを選んだ責任は皆さんにはないとしても、これからの人類の歴史においてそれを再び繰り返さないという責任は皆さんにあります」というものです。そう我々も、それぞれが自分の生きる時代の歴史に対しこうした狂気を引き起こさないという責任を負つて、いるのです。

難民キャンプでの生活を長期に強いられて
いる子供たちを含む一般人が大勢います。
人々を幸福にする重要な条件は「平和」で
あること、すなわち戦争のない世界を生き
ることと、経済的に貧困に陥る心配
がないということです。

私は自分の人生を振り返る時、太平洋戦
争の終戦1年前に生まれたことが一番良か
ったと思っています。それは、「ずっと戦
争のない日本で生きてこられたこと」、そし
て「戦後の経済成長の中で食べてゆける
ようになった」からです。皆さんが私と同
じ年齢になつた時同じことが言える日本で
あってほしいと強く願っています。歴史の

理事長祝辭



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

新潟国際情報大学の第21回卒業式を迎えた278名の皆さん、卒業誠におめでとうございます。併せて、ご参列をいたしましたご父母の皆さま、心からお祝いとお喜びを申し上げます。また年度末のお忙しい中、多数ご臨席を賜りましたご来賓の皆さま、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

卒業式に当たり大学の設置者であります学校法人新潟平成学院を代表して一言祝辞を申し上げます。

今、「みずき野」のキャンパスでは、大雪と寒風に耐えた桜並木が春の明るい日差しを浴びて大きくツボミを膨らませています。そして西の空には弥彦、角田の山々が青く浮かんで見えます。この恵まれた環境の中で学園生活を過ごした卒業生の皆さんには生涯忘れてほしくない風景です。皆さんはいま何を思い浮かべておりますでしょ

年春から四半世紀の歳月を重ねた大学はもはや新設大学のイメージもすっかり薄れ、ますます充実した大学として新潟の地に根付いております。うれしいことに今年の志願者は一千人の大台を超えました。21年ぶりの記録であり、地域の人々から大きな信頼と期待を寄せられていることの表れかと思います。運営を預かる学院としても、改めて身が引き締まる思いです。

また、本学の同窓生は本日卒業式を迎えた皆さんが加わりますと6000人を突破します。このことも記録に残る出来事かと思ひます。先輩たちは県内外のさまざま分野で元気に生き生きと活躍しております。同窓生の7割強が就職している県内に限つて言えば、本学同窓生は“一大勢力”を成してきているといつても過言ではあります。初期の卒業生は既に企業などで指導的立場で活躍しており、後に続く若い同窓生も次々に階段を登っております。

皆さんはこうした先輩たちのあとを追い

高齢化の大規模過激化する自然災害等々気がかりな問題は数えきません。喜ばしい卒業式で暗い話はしたくありませんが、逃げられない、避けられない現実です。皆さんには、そういう時代を生き抜かなければなりません。

高齢化の問題でいえば、皆さんのが働き盛りの40歳になるころは、日本はなんと7人に1人が80歳以上という超高齢化社会になります。皆さんの負担は想像もできないほど大変です。

新年早々の「新潟日報」に、新潟市出身の文芸評論家である斎藤美奈子さんの平成時代を振り返る評論が載っていました。そのなかで「経済は低迷、思想は戦前回帰、大地は揺れて、科学技術の安全神話が崩れた。問題はこの先である。中高年は上り坂の時代に散々甘い汁を吸つた。しかし若い世代は望みもしない下り坂を押し付けられたままならない」と書いてありました。その通りかと思いますが、下り坂があること

社会の中心的役割を果たしてきました。皆さんはそうした若者の一人です。私は人間の生涯にとつて最も辛いこと、それは明確な目標や使命感を持たないまま仕事をすることと思っています。自分の存在意義を不鮮明にしたまま日々を流れいくほど無意味なことはありません。皆さんはこれから実社会に巣立つわけですが、最初から「やりがい」を味わうことなど「ない」と覚悟していたほうがよいでしょう。「やりがい」を感じるまで、そこに到達するまでの道のりが重要なのです。そしてその裏には苦労の積み重ねがあり、その苦労は自身の努力で克服しなければなりません。同時に「努力の質」も問われます。「自分がなすべきは何か」——これからはいつも自分に問い合わせ、確かめながら歩んでいく人生であつてほしいと思います。卒業式に当たりこのことを皆さんに願つて、祝辞いたします。

どうか体に気をつけて頑張ってください。

いかと思います。新潟国際情報大学はこの4月、開学25周年の節目を迎え、新たな学部として2学科の経営情報学部がスタートを切ります。そして今ほどごあいさつがありましたように、第四代学長の平山学長が学園に別れを告げ、新しい学長を迎えます。まさに「第二の開学」といってもよいでしょう。平成6

かけ本学同窓の誇りと気概をつないでいくことになるわけです。同時にまた、多くの経験を積み上げて後輩たちを迎えるなければなりません。皆さんを待ち受けるこれからの中には「試練と逆境」の真つただの中にあります。残念なことではあります。が、ひと口に「厳しい」と言わざるを得ません。跡を絶たないテロや地域紛争、世界の格差拡大、分断と貧困、北朝鮮情勢のゆくえ、メルトダウンした原発の発生、急速な高齢化

は現実かと思います。ただし、ゆづくり坂を下りて行こう、などという考え方には同意できません。

皆さんのは前には、上り坂しかないと思つてほしい。上だけを見てほしいのです。厳しい将来であつても敢然と立ち向かうのは若者です。逃げ込む道はない、不退転の覚悟をもつてほしい。一人ひとりが秘めた力を持つてゐる、それが若者だと私は確信しています。いつの時代も若者が歴史

そして、本当に偉大な教師というのは、生徒の心に火をつける

あり続けるということです。どうか卒業後も同窓会活動などを通じて大学とつながつていってください。私もOBの一人として心を寄せてゆこうと思います。

今年の春は冬が厳しかった反動分早いようで、間もなく桜が咲き誇るでしょう。そして本学も25回目の新入生を迎える新たな歴史を刻み始めることになります。私も皆さんと一緒に本学を去りますが、共に本学の発展を祈念し見守つてゆきましょう。

終わりに社会人として新たな人生に歩み出す皆さんの前途に「幸多かれ」と心からのエールを送つて私の最後のお祝いの言葉といたします。

言わなければならないことを
【申】
良い教師は
わかりやすいように解説する
優れた教師は

難民キャンプでの生活を長期に強いられている子供たちを含む一般人が大勢います。人々を幸福にする重要な条件は「平和」であること、すなわち戦争のない世界を生き

優れた教師は
自らやつてみせる
そして、本当に偉大な教師とい
生徒の心に火をつける

祝辞といたします。
どうか体に気をつけて頑張つてください。



〈総代〉情報文化学部
土田 康裕

人の縁を大切に

例年はない豪雪に見舞われた冬も終わりを迎える季節となりました。

平山学長をはじめ諸先生方並びに来賓の皆さまの御臨席を賜り、盛大な卒業式を挙行していただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

「光陰矢の如し」。時の流れは早いもので、期待と不安を胸に不慣れなスーツを身につけて参加した入学式からの4年間はあつという間でした。

私はなんとなく大学に進学し、周りの仲間が早くに働き人生経験を積んでいる中、多くの学費を納めて勉学に努めてまいりました。よく学生の仕事は勉強だと人生の先輩は言いますが、この4年間真摯に学業に取り組んできたかと問われると、少し首をかしげるかもしれません。

一つ確実に言えることは、学生生活では多くの人と出会い、いろいろな経験を重ね、楽しく満足の気持ちで一杯です。気軽に質問ができる適切なアドバイスをしてくださった先生方や職員の皆さん、心優しくサポートしてくださいさつたキャリア支援課の皆さん、プロジェクトに参加した際に優しく教えてくださいさつた地域の皆さまや企業の皆さん

ま、そして共に課題に取り組んだ仲間、世代の垣根を越えて交流し、つながりを持ったのはとても幸せだと感じています。人脉は財産とも言われるほど、この世で出会う人は人生の宝物であり、全てプラスに働きかけます。経験を持った人との出会いは、知らなかつたことを教えてくれ、生き方を知ることで豊かになります。嫌な人との出会いもあるでしょう。でもそれに

よつて自分が傷つくことを体験することで人にに対する痛みを知ることができると考え

たらこれからの糧になります。
以前までの私は、何か新しいことを始めにあたり、一人で本やインターネットを通して専門知識を身につけることが大切だと思っていました。今考えると、それもある意味正しいことかもしれません、人に働きかけます。経験を持った人との出会いは広く、自分の知識だけでは足りません。その足りない部分を補ってくれる存在の中は広く、自分の知識だけでは足りません。その足りない部分を補ってくれる存在の中は広く、自分の知識だけでは足りません。そのため大切なのは、自分自身の知識だけではなく、他の人の知識も一緒に学ぶことです。そのため、自分自身の知識だけではなく、他の人の知識も一緒に学ぶことです。

が人とのつながりである“縁”ではないかと感じます。人生は有限だからこそ、今まで関わった人やこれから関わるであろう人

との“縁”を大事にしていきたいと思つて

います。

最後になりましたが、先生方のご指導、職員の皆さまの助け、苦楽を共にした仲間、そして温かく見守つてくださった地域の皆さま、心の支えとなつてくれた家族があつた。卒業生を代表して、私たちを支え、導いてくださった全ての方に心より御礼申し上げます。皆さま方のご健康と新潟国際情報大学のさらなる発展を願い、答辞とさせていただきます。



JABEE認定プログラム

22人に修了証書授与

卒業式に先立ち、JABEE(日本技術者教育認定機構)で認定されている情報システム技術プログラムの修了証書授与式が行われました。22名の修了生は学長から一人ずつ修了証書を授与されました。

修了生は、文部科学省が定める技術士第一次試験免除の優遇措置が受けられます。また、情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けたことが社会的評価として与えられます。

継続研さんと情報交換を行うために、技術士と教員による交流会を年2回（新潟と東京）開催しています。このような機会も利用して、ますます社会で活躍されることを期待します。

(情報システム学科 教授 石川 洋)

		祝電	
		順不同	
日本私立大学協会	会長	大沼 淳様	
新潟県 知事		米山 隆一様	
新潟市 市長		篠田 昭様	
エイジェックグループ	代表	古後 昌彦様	
株式会社NSGホールディングス	代表取締役社長	池田 祥護様	
セコム上信越株式会社	代表取締役会長	野沢 慎吾様	
株式会社ALSOOK	代表取締役社長	清水 順様	
株式会社新潟綜合警備保障	代表取締役社長	廣田 幹人様	
株式会社日本ドリコム	代表取締役	太田 豊彦様	
株式会社福田組	代表取締役社長	山城 由紀雄様	
株式会社ホテル清風苑	代表取締役社長	樋口 智子様	
株式会社マルイ	代表取締役	清水 辰雄様	
株式会社リクルート北関東マークティング	代表取締役社長	中島 淳二様	
代表取締役社長			

4年間、さまざまな場面で国際交流をする機会がありました。2年次に派遣留学で4ヶ月間ロシアのウラジオストクに行き、3年次は約3週間カンボジアでボランティア活動などを行いました。

海外の異文化に触れて自分が持ついた偏見について考え、日本や自分を見つめなおす良いきっかけとなりました。また、新しいことに挑戦する大きさを学びました。3年次はTFT-INUIという団体を立ち上げま

した。普段の食事から世界の食糧問題を解決していく

ための食糧問題を解決していく

には、自分たちがやつて

いました。大学2年の夏にカ

ナダ夏期セミナーに参加し

ました。留学当初は自分の

本学の学食に導入し、それ

をきっかけにより多くの人

に国際協力や海外に興味を

す。大学生活の4年間、多く

の貴重な経験ができます。

そのすべてが自分ひとり

持つてもらうのが目的で

す。

昨年6月にTFTを導入

できましたが、どうしたら

多くの人にTFTメニュー

を食べてもらえるか、TF

Tに興味を持つてもらえる

いきました。

りでは経験できなかつたこ

とです。いつも一緒にいて

くれた友人たち、指導して

くださいいただき、とても良い

コスプレ・イベントによる

地域活性化プロジェクトを

していただき、とても良い

経験になりました。

この活動をしたことが、

結果的に私自身の就職活動

にもつながり、これから

人生にも大きく影響する

ます。このような

ことが、これまでの貴重な経験

でした。

かが課題です。後輩メンバ

ーには、自分たちがやつて

いました。3年からはゼミで心理学

を専攻しました。卒業研究

では初めて自分でテーマを

が今の自分にとつて大きな

財産となっていることに気

づいた。留学を通じて教

えました。この経験を通して教

えました。この絏験を通して教

えました。この絏験

平成29年度 卒業生おめでとう



晴れやか 278人の門出を祝う

平成29年度第21回卒業式が3月24日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）で行われ、卒業生278人（情報文化学部174人、国際学部104人）が決意を新たに社会へ巣立つました。

学位記授与式は一人ひとりが名前を呼ばれて登壇し、平山征夫学長が「おめでとう」と固い握手で祝福しました。学長は「勇気と夢を抱き、自信を持って社会に巣立つてほしい。多くの困難にぶつかるでしょうが大学で学んだことは必ず役に立ちます。そして卒業後も学び続けることが必要です」と激励。「私も学長を卒業します。感無量の思いです。本学の発展を共に見守っていきましょう」と呼びかけました。

大学の設置者、学校法人新潟平成学院の星野元理事長は「厳しい将来でも、真正面に向き合い、敢然と立ち向かってほしい。いつの時代も若者が歴史を変え、社会の中心的役割を果たします。一歩一歩、苦労と努力を積み重ねてください」と祝辞。来賓の福田勝之新潟商工会議所会頭が「チャレンジ精神と感謝の気持ちで、地域経済を支える力になって活躍してほしい」とエールを贈りました。

卒業生を代表して情報文化学部の土田康裕さんが「気軽に話せる先生、苦楽と共にした仲間、優しい地域の皆さま。多くの人に出会い交流できたことは幸せ。心よりお礼申し上げます」と答辭を述べました。

校歌「空がある 風がある 光がある」を卒業生、教職員、来賓、父母ら全員で齊唱して大ホールは喜びに包まれました。

第21回までの卒業生は合計6,083人に

年 度	卒業者数	情報文化学部	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
年 度	卒業者数	国際文化学部	情報システム学科
29年度(第21回)	282人	106人	176人
合 计	6,083人	2,438人	3,645人

*9月卒業生含む



情報文化学部

4名は新潟市古町地区において2年間にわたり産官学連携による地域活性化の研究を行い、「地ラボニイガタ」に採択されました。また、スマートフォンを用いた「まちあるき」のビジネスモデル構築し、新聞等に掲載されるなど、本学の知名度を高めました。

情報文化学部
高井 淳司 白木 裕貴 市川 耕史
二宮 隆史 松田 和也 狩谷 翼
本間 大貴

「新潟市西区内野商店街活性化プロジェクト」のリーダーとして活動し、内野地区に若年層の回遊を促進するためにイベントを実施しました。また、西区の夢プロジェクト策定メンバーとして市長へ政策提言のプレゼンテーションを行ったなど多岐にわたり産官学連携による地域活性化の研究活動を行いました。高い評価を得ました。

星野 誠也

平成29年度

卒業生特別表彰

学長賞（学業成績優秀者）

情報文化学部（総代）

士田 康裕

学術賞

国際学部

高橋 佳那子

学術賞

国際学部

上村 果穂

地域交流賞

情報文化学部

市川 耕史

学術賞

国際学部

高橋 佳那子

学術賞

国際学部

上村 果穂

第15回新潟・ロシア語スピーチコンテスト入門Aの部で第2位、翌年の同コンテストでは入門Bの部で優勝するなど、優秀な成績を修めました。